

保体1年「バレーボール」 H.H教諭

本時は1学年のバレーボールの最終授業であるが、3年間を見通したときには、この2対2の活動（オーバーハンドのみの制限）が次年度以降のゲーム（3対3、6対6等）に発展していくもととなる。同じチームの仲間だけでなく、相手チームとも1つのボールをつなぎ合ってラリーすることに、楽しさや喜びを味わうことができるような時間とした

【授業の流れ】

(1) ウォーミングアップ

(2) 前時までの振り返り

「ボールが落ちやすいところはどこだったか」
ネット際、ライン際、人と人の間。

場所の確認



学級委員の立派な声掛け

(3) ねらいの確認

「2対2でボールをつなぐためのポイントを考えながらプレーしよう」



学習シートへの記入

(4) 3人1列のオーバーハンドパス

(5) 2対2のゲーム（3分×4セット）

実践とミーティングを繰り返すことで、互いの考えを理解するとともに、互いにフォローする関係性が構築される。



男女の組み合わせ

・インターバルの1分ミーティング

声を掛け合う。どんな声がいいか？

ボールを高く上げる。ボールの質はどうか？

仲間が上げたボールを自分から積極的に拾いに行く。構えはどうか？

バックオーバーハンドパスを活用する。



単元の目標と評価 思考・判断・表現

課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。



(6) 授業の振り返り

男女の仲が良く、どのペアも楽しく活動していた背景に、学級経営のすばらしさを感じる。

本校の今年度の重点目標

【授業改善】「自己との対話から学びを深め、他者を意識した表現を工夫する生徒の育成」